



データボード^⑮

- ① 岐阜県中津川市中津川字野中
- ② 延長840m、幅員4m
- ③ 宿場碑、石畳、植栽樹、冠木門、水車、四阿など
- ④ 御影石、杉、アスファルト
- ⑤ 鱒つかみ大会など

古く中津川は、中山道の宿場町として栄えたところであり、今も落合の石畳や中津川、落合の町並みには往時の旧跡が残り、中津川市の観光資源となっている。

また、「中津川遊歩道公園」の八四〇メートルの歩道には、この地方から産出される原石、木材を豊富に使った中山道六十九次の宿場碑、石畳、植栽樹、冠木門、水車、四阿等を設置したミニ中山道が整備され、異趣情緒が溢れている。自然石の宿場碑には、市民の公募から採用した宿場名の文字が刻まれており、その碑の立ち並ぶさまはユニークで味わい深いものとなっている。